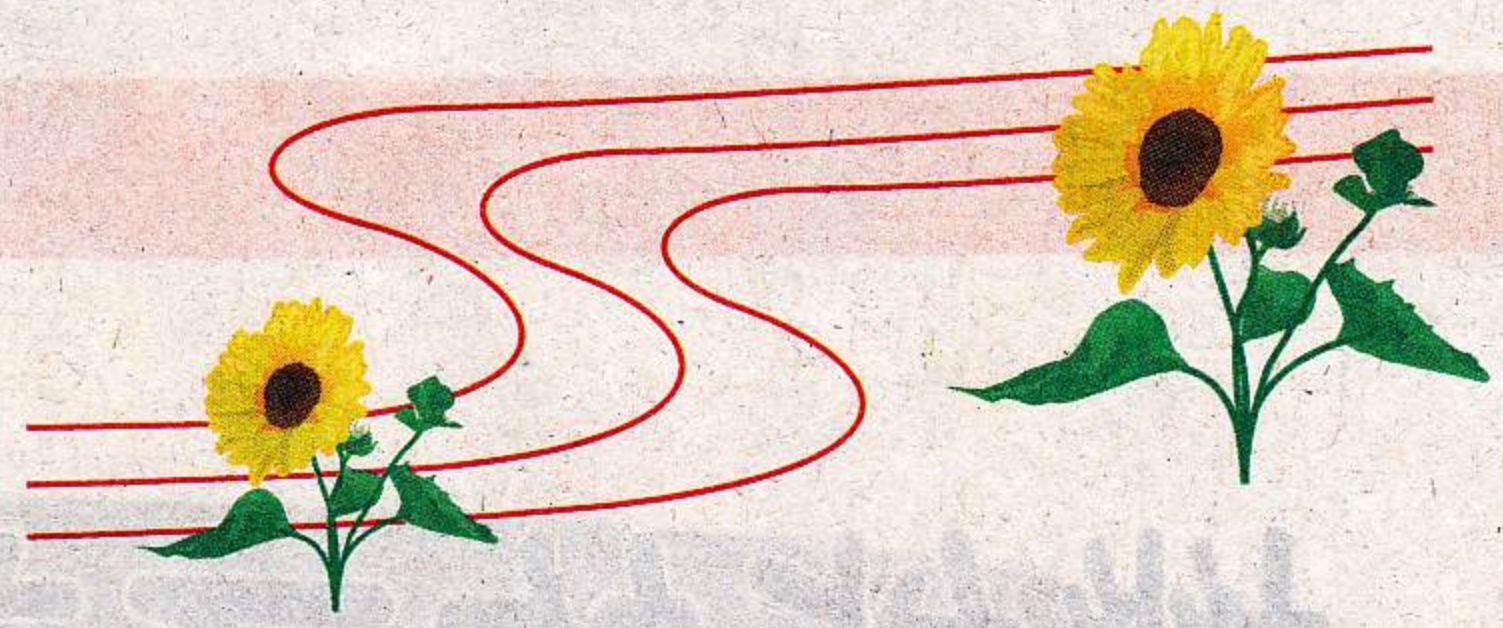


南から北から

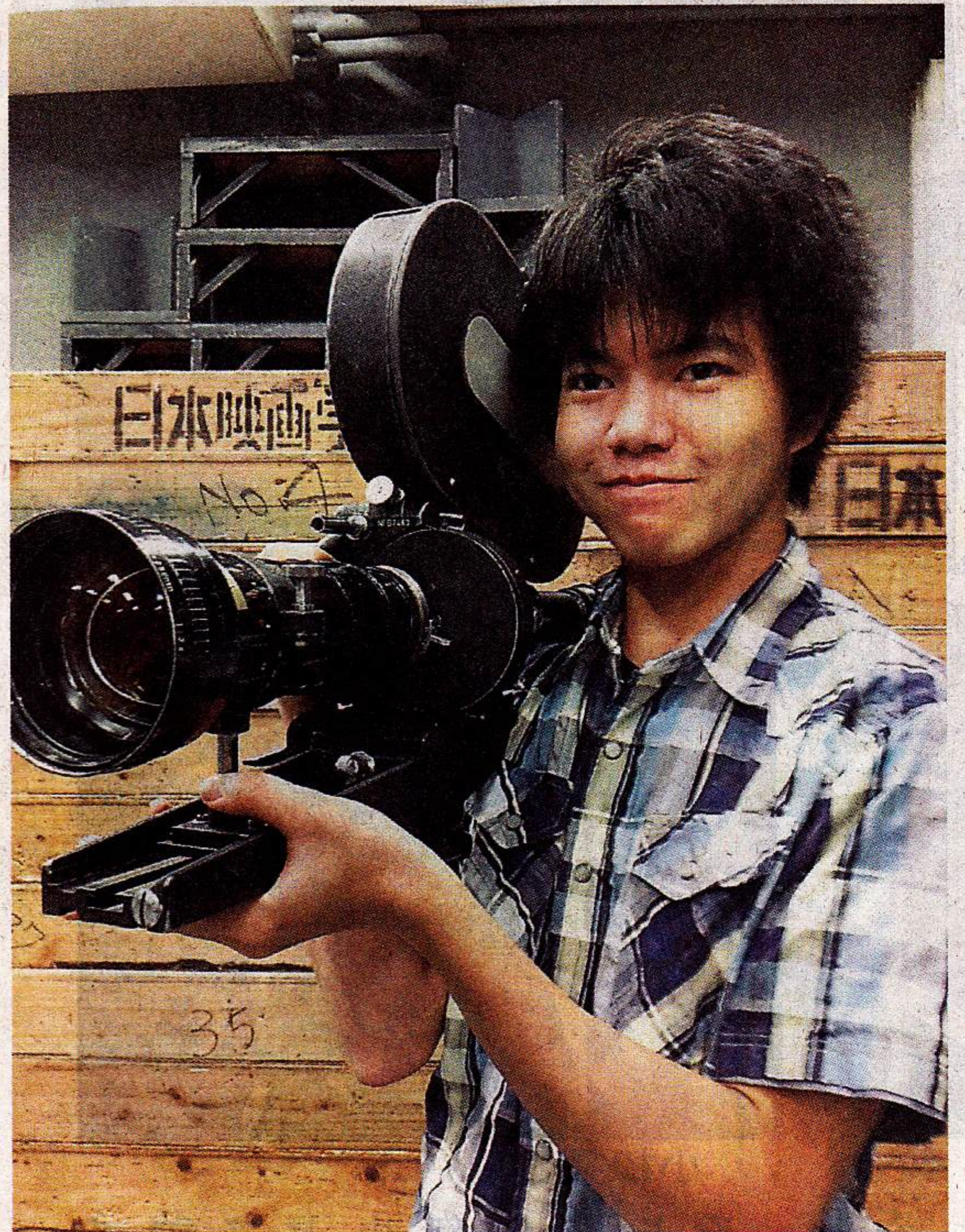
ふるさとワイド便



やました・だいすけ 敦賀市中郷小、気比中、敦賀高普通科を経て、日本映画大へ進学。映画学科脚本演出コース在籍。映画製作団体DYC主宰。映画「プラチナデータ」(13年3月公開)に美術応援で参加。21歳。

敦賀を舞台に映画製作

山下 大裕さん(敦賀)



「2020年までに全国公開の映画を撮ること」と目標を掲げる山下さん

監督人生夢の出発点

20歳という節目に地元敦賀で映画を撮ることに大きな意味があった。まずは、監督としてのスタートラインに立つこと、そして映像を通じ生まれ育った街への感謝を表し、魅力を伝えることだ。

そのデビュー作を山下さんは「当時の自分の最大限の力を出すことができた。自信を持って世に送り出せる」と評する。慢心しているわけではない。芝居の面白いやカッ



ト割り、脚本の質を磨く。ことなど、反省すべき点も多く気付かされた。それでも「精度を上げていくのはこれから」と全ての松原、清明の朝市、金ヶ崎緑地、疋田の舟川…。ロケの8割以上を敦賀で行った。哀愁を基調にしなながらも笑いを交え、孤独だった主人公の少女が「変わったいくストーリーを、敦賀という舞台が引き立てた。「市民にとって見慣れているであろう街は、実は映画にもなる素晴らしい場所」。あら

大好きな街感謝込め撮影



完成披露上映会で舞台あいさつに立つ監督の山下大裕さん(右)ら=敦賀市きらめきみなと館

SNOWGIRL 主役の女子高生・玲菜が父親の急な出張で敦賀に住む祖母に預けられ、双子の妹と名乗る少女・羽菜と出会う一冬の不思議な物語。主演に山下さんの幼なじみで双子姉妹の俳優、縄手麻里さん、梨乃さんを起用。同市の舞台俳優、人村朱美さんも友情出演した。現在、「京都国際学生映画祭」など4つのコンペティションに出品中。

ためて抱いた古里への感、美術や演出に興味を、持った。高校2年のころ、映像演出と舞台演出のどっちに進もうか迷った。算して今、やるべきことだ。敦賀市で5月末に開いた上映会には、昼夜2回、約500人も市民らが出た。双方の要素を生かす「映画監督」があることに気づき、道は固まっ素直な心を思い出した。今後どう成長していくか。

「夢は？」と尋ねると、迷わず「2020年まで」

(松本寛)